

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
感染症・呼吸器学				岡本 悦司	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	1 年次	講義	無	非公開
授業の概要(Course Description)					
<p>感染症及び寄生虫症(ICD10A, B)と呼吸器(ICD10J)をカバーする。 感染症は公衆衛生上重要であり、感染症サーベイランス(疾病登録や届出)等、診療情報管理士として関連のある法律や制度についても言及する。 呼吸器については内因性疾患だけでなく塵肺等、環境や職業要因による疾患とそれに対する社会制度についても言及する。 終了時に毎回小テスト(持ち込み不可)を行う。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症を列挙し、その病原体と予防・治療法を説明できる ・ 様々な病原体(ウイルス, 細菌, 原虫等)の違いと性質を説明できる ・ 異なる病原体に対する有効な薬剤とその作用機序を説明できる ・ 呼吸の生命維持への必要性和呼吸不全の病態を理解する ・ 主要な呼吸器疾患を列挙し、その治療法を説明できる 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	感染の定義、病原体の種類、感染経路、症状、感染症の診断、治療、予防など(197～201頁)				
第 2 回	細菌性疾患 (1) 腸管感染症(202～6頁)				
第 3 回	細菌性疾患 (2) 結核、人畜共通細菌性疾患(207～12頁)				
第 4 回	細菌性疾患 (3) ハンセン病や破傷風など(213～24頁)				
第 5 回	性的伝播様式をとる感染症：梅毒や淋病など(225～28頁)				
第 6 回	回帰熱、ライム病やオウム病など(229～33頁)				
第 7 回	ウイルス感染症 (1) 発疹チフス、Q熱やポリオなど(234～37頁)				
第 8 回	ウイルス感染症 (2) 節足動物媒介、皮膚などの病変ウイルス感染症(238～43頁)				
第 9 回	ウイルス感染症 (3) ウイルス肝炎、HIVならびにその関連の日和見感染症など(244～52頁)				
第 10 回	真菌症、原虫疾患、蠕虫症(253～62頁)				
第 11 回	呼吸と肺機能(545～47頁)				
第 12 回	気道の感染症(インフルエンザ他)(548～60頁)				
第 13 回	慢性閉塞性肺疾患(561～67頁)				
第 14 回	外的因子による肺疾患(568～70頁)				
第 15 回	その他肺疾患(571～81頁)				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
なし					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
毎回の小テスト (50%) 期末テスト (50%)	期末試験を行う(持ち込み不可) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理 I 【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会 【出版年】 2016
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	
備考 (Other Information)	1年生の感染症・呼吸器学と2年生の臨床医学Bは合同で行う。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいるのでいつでも可